

小児慢性疾患名（日本語） 小児慢性疾患名（英語）	きょだいぼうこうたんしょうけっちょうぜんどうふぜんしょう 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症 Megacystis-Microcolon-Intestinal Hypoperistalsis Syndrome(MMIHS)
カテゴリ	A
診断方法	以下の5項目を全て満たすもの 1．出生直後から腹部膨満、嘔吐、腹痛等の腸閉塞症状を呈する 2．巨大膀胱を呈する 3．新生児期の注腸造影でMicrocolonを認める 4．消化管を閉塞する器質的な病変を認めない 5．全層生検において病理組織学的に神経叢に形態学的異常を認めない
カテゴリ A たる背景	疾患概念と確定診断が同一であり、手術所見・剖検所見または画像診断で診断が確定するため、系統的レビューは不要であると判断した。
対象基準 （重症度分類）	腹痛、腹部膨満、嘔吐などの腸閉塞症状により、日常生活が著しく障害されており、かつ以下の3項目のうち、少なくとも1項目以上を満たすものを、重症例とする 1．経静脈栄養を必要とする 2．経管栄養を必要とする 3．継続的な消化管減圧を必要とする ^{註1)} 註1) 消化管減圧とは、腸瘻、胃瘻、経鼻胃管、イレウス管、経肛門管などによる腸内容のドレナージをさす